

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童デイサービスにじいろ				公表日	R8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	視点が定まらないといった刺激は極力排除し物もおかないようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		時と場合によるが多いときがある。子供の人数に対して指導員の数が多いと感じる時がある。定員は適切だが送迎人員が多いことで対応できる幅が増える。利用人数増加時の対応(やお出かけイベントなど)送迎者が少なく療育にはいる時間や人が限られる場合があるため送迎人員の拡充を望む。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	子供の気が散らないように最低限のものしか置かない。子供が広々と使えるスペースがあるなど工夫がされている。環境や特性に配慮し見直しを行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		人に見られる部分としてきれいに保つこと。備品をもとに戻すといった配慮や片付ける自己責任があるともっとよくなると思う。整理整頓は随時ひつようである。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		完全に個別の部屋を児童用にしていないため安心できる場所作りを行いたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	PDCAを職員全体で細かい内容として行うことはできていない。実施するための時間作りを行っていききたい。PDCAを広く行う時間がないが、個別対応をしたり少人数では行っている。	PDCAを職員全体で細かい内容として行うことはできていない。実施するための時間作りを行っていききたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	意見を元に改善している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		ミーティングや面談の機会が少なく感じる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	定期的に研修について周知し外部研修内容として報告している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムに沿って療育している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	面談の実施や送迎時などニーズの把握をし現状にて分析し作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		行っているがより詳しく掘り下げていきたい。異動により児童の様子の把握、職員の未経験率が高いこともあり見直しを図る必要がある。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		共有しているが以前のほうができていたように感じる。児童によって対応が必要となると決まった時間でのミーティングが必要のため薄くなっている。強化が必要。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		ツールを用いたアセスメントはできていないがインフォーマルなアセスメントは随時行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	必要に応じて家族支援の内容を掘り下げて説明している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	今日の予定を話し合いで決めている。以前は児発官が主導していたが現在は職員同士で行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	人数の増減や児童の年齢に合わせて対応を変える予定である。	同じことをしないように気を付けているが子供の人数が少ないため固定化されていると感じる。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	充分とはいえないが各自努力している。	何を課題としているかによって個別と集団で内容を変えている。より深めていくのが望ましい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		必ずできていないができるときはしている。より深めていくのが支援として望ましい。支援開始時に決めることが多い。その場にいる職員間では話し合うが後からきた職員との共有が不完全なことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	個別療育の内容を送迎者に伝えている。アプリを使い共有報告をしている。	必ずできていない。共有はしているが全体での共通認識を促す打ち合わせが必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2		細かい部分での記録はない。本来はあるとわかりやすい。表などでデータをまとめた。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		特別早い見直しはないが定期的に行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		現在はあまり行われていないが見学や外部のデイとの連携を行っている。会議に参加していないため不明。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		幼稚園保育園と連携をとっている。病院ともとっているため達成している。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		移行支援として外部資料を作成し必要に応じて幼稚園保育園デイの様子をまとめている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		発達相談としてコンサルジュを進めており前年度よりも発達検査の受診率を向上し助言を受けている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		特別な形ではないが公園遊びや外出イベントの中で交流する機会がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		電話や送迎時定期面接等でお伝えしている。
保護者への	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		研修は行ってないが情報提供は行っている。研修の機会として情報を保護者に提供する案が出ているため検討する。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		契約時に伝えており不明な点があれば都度相談していただくよう伝えている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	ニーズにそつ形を優先し、もしニーズと課題がずれていた場合は発達段階を説明し理解を得ている。計画作成の前に必ず意見を聞くようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		なぜこの目標を設定したのかニーズとして組み込んだことを説明している。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		定期的な面談の場を用意し必要に応じて電話面談も実施している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		ニーズがないため基本行っていない。交流する機会はないが事業所で運営している合同イベントで兄弟同士交流する機会は去年より増えた。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談を受けた際には即座に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	アプリでイベントの周知を行い発信している。HPで活動概要を載せている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	定期的に研修で見直しを行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	保護者によっては伝わりやすい誤解をまねかないように文章でのやり取りの見直し。口頭で伝えるといった対応をわけている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		地域住民は招待していないが保護者家族をうけいれたイベントは行っている。パレード等で地域交流を行っている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	安全計画の周知、研修や訓練について実施報告をしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	安全計画の周知、研修や訓練について実施報告をしている。 に沿って定期的な訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	一覧表にまとめている	定期的に更新していきたい
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	どこまで食べられるか保護者に詳細を確認している。 卵を消化できない体質であることをきき、対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	行っている。都度見なおしている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	緊急時等の連絡について等プリントを配布し周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	常にヒヤリハットを記入し、危険について分析しリスクマネジメントの研修の際に危険性がないかの見直しを図っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	必ず年二回実施し内容を変えて行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	同意を得ている、記載している		